

2019年3月吉日

## 島根県立大学と成蹊大学の連携協定締結記念イベント

### 石見神楽の公演を開催

【取材案内】日時：2019年3月23日(土) 15:00～17:00 場所：成蹊大学

島根県立大学・島根県立大学短期大学部(島根県浜田市、学長：清原 正義)と成蹊大学(東京都武蔵野市、学長：北川 浩)は、2018年6月に包括連携協定を締結しました。これを記念し、成蹊大学を会場に石見神楽(いわみかぐら)の公演を下記の通り開催します。当日は、島根県立大学の教員による石見神楽に関する講演に続き、島根県立大学の学生を中心とした「舞濱社中」と現地の伝統的社中である「宇野保存会」のメンバーによる演舞を行います。

#### — 記 —

日 時：2019年3月23日(土) 15:00～17:00 \*開場は 14:30 を予定。

場 所：成蹊大学 4号館ホール

主 催：成蹊大学、島根県立大学・島根県立大学短期大学部

対 象：成蹊学園の児童・生徒・学生・教職員、近隣市民

内 容：石見神楽に関する講演、「舞濱社中」と「宇野保存会」のメンバーによる演舞 ※次頁に演目紹介あり



写真：石見観光振興協議会 提供

#### 【ご取材お申込について】

3月20日(水)までに、成蹊学園 広報グループ (0422-37-3517)にお申込みください。

※当日の取材受付時間・場所等につきましては、お申込み時にご案内致します。

#### 本件に関する報道機関からのお問い合わせ

成蹊学園 広報グループ 担当：栗林 TEL: 0422-37-3517 Email: [koho@jim.seikei.ac.jp](mailto:koho@jim.seikei.ac.jp)

島根県立大学 企画調整室 担当：福間 TEL: 0855-24-2201 Email: [kikaku@u-shimane.ac.jp](mailto:kikaku@u-shimane.ac.jp)

2019年3月吉日

<補足資料>

## 【石見神楽について】

### ●石見神楽

日本の伝統芸能といえば、狂言や歌舞伎、能などを思い出す人が多いかもしれませんが、「神楽」は、かつては日本全国で盛んに行われていた我が国最古の芸能です。その歴史をひもとくと、日本神話のなかの「天岩戸（あまのいわと）伝説」にまでさかのぼり、岩戸にお隠れになった天照大御神（あまてらすおおみかみ）を誘い出すために、天鈿女命（あまのうずめ）が岩戸の前で舞った踊りが起源だといわれています。

### ●演目「塩祓（しおはらい）」/舞濱社中

一人又は二人で舞う。神を迎える前に、その場を清めるための舞。神社で行われる奉納神楽では、1番最初の演目となり、東西南北を清めることから『四方祓い』と呼ばれることもあります。

### ●演目「塵輪（じんりん）」/舞濱社中

舞濱社中による上演八調子は、神2人・鬼2人が対決する、鬼舞の代表的な神楽です。第14代天皇・帶中津日子（たらしなかつひこ）が、異国より日本に攻め来る数万騎の軍勢を迎え撃ち、その中に身に翼があり黒雲で飛びまわる「塵輪（じんりん）」という悪鬼が、人々を害していると聞き、天皇自ら天の鹿兎弓（あめかごゆみ）、天の羽々矢（あめはばや）をもってこれを退治するというものです。

### ●演目「大蛇（おろち）」/宇野保存会

悪業のため高天原を追われた須佐之男命が出雲の国・斐川にさしかかると、老夫婦が嘆き悲しんでいました。理由を尋ねると、夫婦には八人の娘がいたが、大蛇が毎年あらわれて、七人の娘を食べられ、今度が最後に残った娘なるというのです。それを聞いた命（みこと）は、大蛇退治を約束し、大蛇に毒酒を飲ませ、酔った所を退治しました。この時、大蛇の尾から出た剣は、天の村雲の剣（のちの草薙の剣）として天照皇大神に献上され、三種の神器の一つとして今も熱田神宮に祀られており、須佐之男命は助けた娘、奇稻田姫と結婚したのです。

神楽の様子がわかる動画／「石見観光振興協議会」より

<http://www.all-iwami.com/contents/kagura/enmoku/orochi/>

## 【島根県立大学・島根県立大学短期大学部と成蹊大学の包括連携について】

2018年6月1日、成蹊大学と島根県立大学は教育・研究面における包括連携協定を締結しました。この連携協定は、故・宇野重昭名誉教授が島根県立大学初代学長を務められていたことが縁で実現したものです。両大学間では、それまでも教育間の研究交流が行われていましたが、現在は締結を機に、両大学の学生・教職員が、研究、地域貢献、産学連携などの分野においても協力や連携の促進を図っています。